



明化の教育

9月号（第481号）

令和2年8月24日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

新しい生活を自分たちで創る

校長 熊倉 勝



7月に入っても気温が上がらず冷夏と思われましたが、夏休みに入った途端に本格的な夏が訪れ、猛暑の夏休みとなりました。例年とは違う短い夏休みでしたが、家族と共に過ごす時間がこれまで以上に増え、絆が深まり有意義な夏休みになったことと思います。学校では、この夏休み中に仮設校舎への引越しが行われました。お世話になった校舎との別れは寂しいことではありますが、1学期末には、子供たちがお世話になった校舎に感謝の気持ちを表す姿を多く見ることができました。うれしい限りです。

全校で行った「ありがとう大そうじ」。きれいにすることで感謝の気持ちを表したい。高学年では、黒板の上など普段なかなか掃除できないところまで自分たちで場所を見つけ、みんなで気持ちをひとつにして、一生懸命校舎をきれいにしました。学級ごとにまとめた「校舎に向けてのメッセージ」。心温まるメッセージばかりです。これらの活動は、代表委員会で話し合い、決めたものです。また、1学期最後の日の下校時に「ありがとうございました。」という元気で温かな声が校庭に響きました。子供たちは、最後の日にこれまでの感謝の気持ちを伝えたかったのだと思います。これら全てが、子供たちが自ら考えたことです。自ら考えたことで、責任が生まれます。だからこそ価値があり、みんな一生懸命取り組んだのです。こんな場面からも子供たちが「自立」に向けて着実に歩みを進めていると感じます。



さて、2学期が始まりました。仮設校舎での新しい学校生活のスタートです。校庭がさらに半分になるなど厳しい環境になりますが、与えられた環境の中で、最大限のことを可能な限り行っていきたいと考えています。

1学期には、三密を避けるためにクラス遊びを考えて、楽しく遊ぶ姿が見られました。私は、クラスの団結力の高まりを感じるとともに、子供たちの関係が穏やかで微笑ましく思えました。このように子供たちは、新しい生活に適応する力をもっているのです。2学期も子供たちの力を信じ、新しい学校生活を自分たちで創り上げていく過程を大切にしていきたいと思っています。今学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「校舎に向けてのメッセージ」は校内に掲示しますので、ご来校の際にご覧いただき、子供たちの思いを感じていただけましたら幸いです。